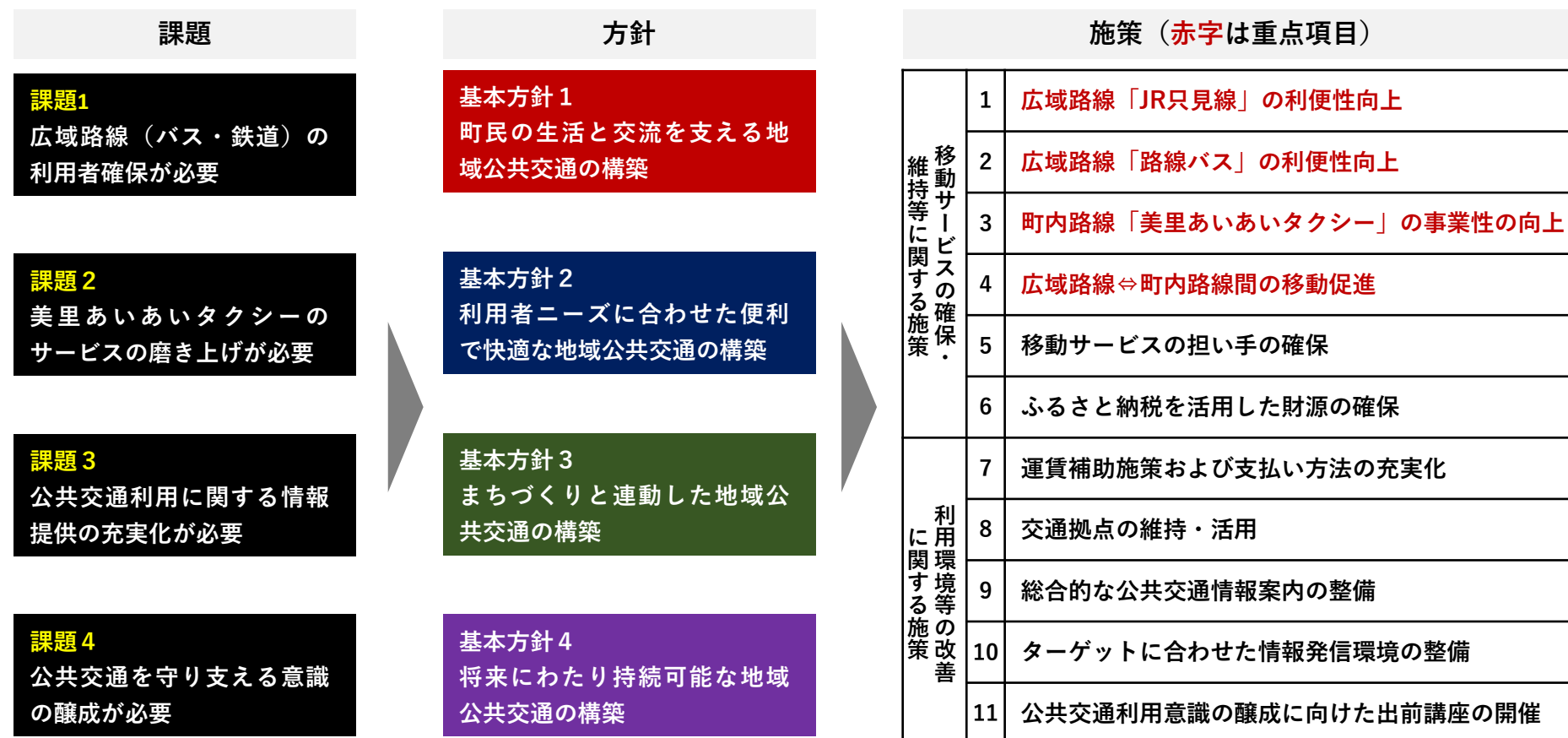


計画事業の具体化に 向けた検討について (キックオフ資料)

- 昨年度に地域の現況整理や各種調査を行い、以下のとおり会津美里町における公共交通の課題や方針について検討し、課題解決に向けて取り組むべき施策の整理を行った。
- 本年度は計画書が「絵に描いた餅」にならないように、特に施策の内容に関して交通事業者等と協議を行い、実現性を高めて計画への反映を目指す。



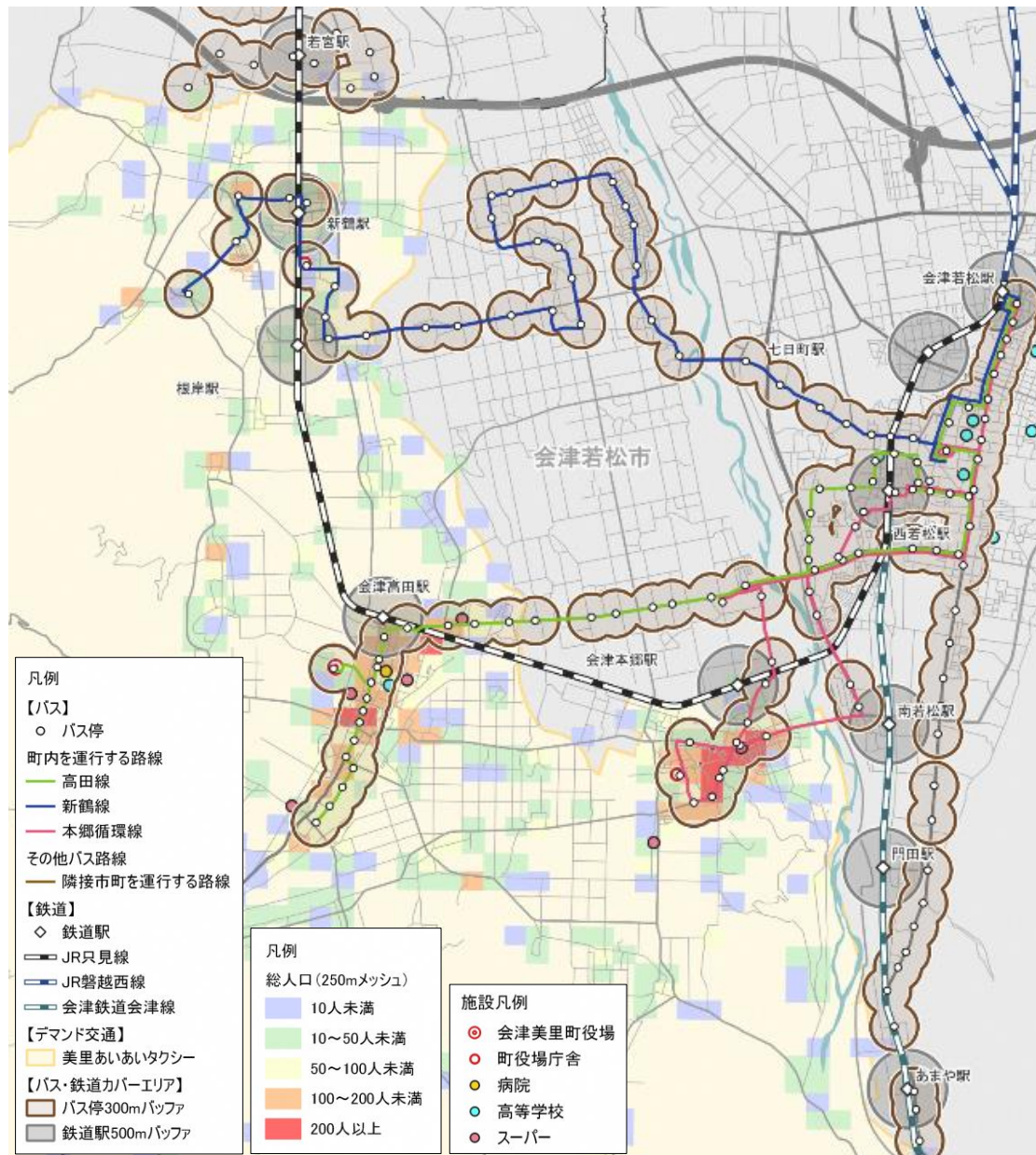
- 町内を運行する公共交通の状況は以下のとおり

	強み	弱み
路線バス (3路線) ・ 鉄道	- 年末年始以外は毎日運行 - いつも決まった時間・経路で会津美里町～会津若松市への移動が可能 (主に町内外の通勤通学、町外の買物・通院を担当)	- 指定された乗降場所(バス停)でのみ乗降が可能 - 基本は線的に主要施設や人口の多いエリアを運行 (町内で広がる人口分布への対応は不向き)
美里 あいあい タクシー	午前8時から午後4時30分の間であれば町内全域で自由に乗り降りすることが可能 (主に町内の買物・通院を担当)	- 日祝、年末年始は運休 - 町内限定の予約制の移動サービス (会津若松市内の高次の商業・医療施設への移動や、通勤・通学のような毎日利用する移動には不向き) - 予約が集中すると運行時間の想定が難しい



互いの弱みを補って運行中だが、今後は
特に路線バス・鉄道の利用者増加に向けた協力が必要

持続可能な社会の実現に向けては、既存事業者との「競争（右肩上がりの時代における顧客の奪い合い、サービスの競争）」ではなく、「共存・共栄（相互の連携・協力）」が重要



両サービスの共存で
空白地域を解消中

施策1：広域路線「JR只見線」の利便性向上

- 高校生の通学、高齢者の通院等を目的とした移動について、利用状況及び利用者需要に見合う利便性向上策を検討する

施策2：広域路線「路線バス」の利便性向上

- JR只見線と同様に高校生の通学、高齢者の通院等を目的とした移動について、まちづくりの状況や利用状況、利用者需要に見合う乗降場所の追加や利便性向上策を検討する
- 検討対象路線は新鶴線、高田線、本郷循環線とする

広域路線のため
会津圏域地域公共
交通計画と整合を
取りながら検討

施策3：町内路線「美里あいあいタクシー」の事業性の向上

- これまで以上に利用者の待ち時間を抑えながら、効率的に乗り合って運行できるように、運用システムを改善する
- 坂下厚生総合病院便について、利用時間や乗降場所に関する検討を利用者の意見を取り入れながら行う

本町の交通会議
にて詳細に検討を
行い、計画に記載

施策4：広域路線⇔町内路線間の移動促進

- バス停から遠い町民が安心して移動ニーズが高い会津若松市内に位置する「竹田総合病院」や「会津西病院」を利用できるように、移動促進を行う
- 保護者の送迎負担軽減策を検討する

テーマ：混雑時の待ち時間の解消

- 美里あいあいタクシーは特に通院を目的に利用されているが、診療後の帰宅時間を利用者が予測することは難しく、10時～13時の間で予約から乗車まで30分以上の待ち時間が発生する場合があります、利用者から改善の声が求められている

PLAN 1

AIの設定を変更し対応

現在使用しているAIオンデマンドシステムの**乗合率等を調整**することで、突発的な病院からの予約に対応できるか検証を行う

■想定される課題

- 乗合率が低下しても利用者の待ち時間にそれほど変化が見られない可能性がある

※内部調整で対応が可能のため大々的な周知の必要がなく試験的に様子を見ることが可能

PLAN 2

昼の時間帯のみ定時制を導入

混雑が見られる時間帯で定時制の便を設定することで、利用者の待ち時間の緩和を行う

■想定される課題

- 通常運行に対するリソースが割かれるため、全体的に待ち時間が増加する可能性がある
- 病院における通常運行との棲み分け設定が必要
- 待機・運行のための利用者の事前予約および移動先の把握方法の検討が必要

PLAN 3

混雑時のみ増員して対応

混雑時間のみ部分的に運転手を雇い車両台数を増やして利用者の待ち時間の緩和を行う（ライドシェア）

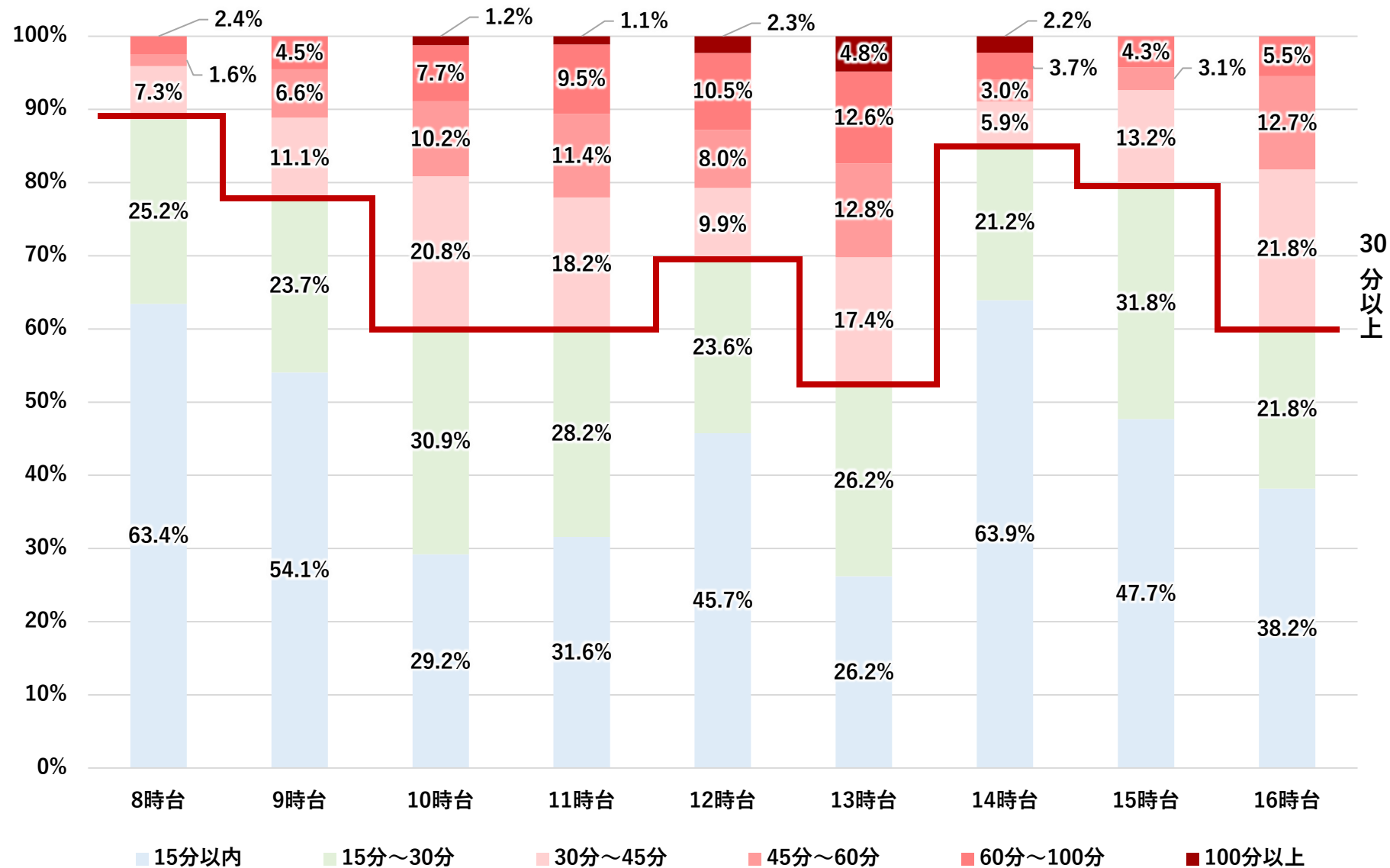
■想定される課題

- 当日に運転手が見つからなければ現体制で対応が必要
- 運転手に対して事前に研修等の対応が必要
- 運転手予約に関するシステムの改修が必要

上記に加えて病院側との連携による帰宅時間の予測も検討

【参考】美里あいあいタクシーの待ち時間

P6



※利用実績 (R5.4～R6.3)

テーマ：坂下厚生総合病院便の利便性の調整

- 新鶴地域北部の住民は坂下町にある施設を昔から利用していることから通常の美里あいあいタクシーの動きとニーズが一致していない
- 運行時間や乗降場所が限られていることから、利用しにくいといった声が上がっている
(住民意見交換会より)



全国的な通院後の帰宅時間の要望（11時～13時）と比べると14：30発は遅いため、午前中に繰り上げられないか検討

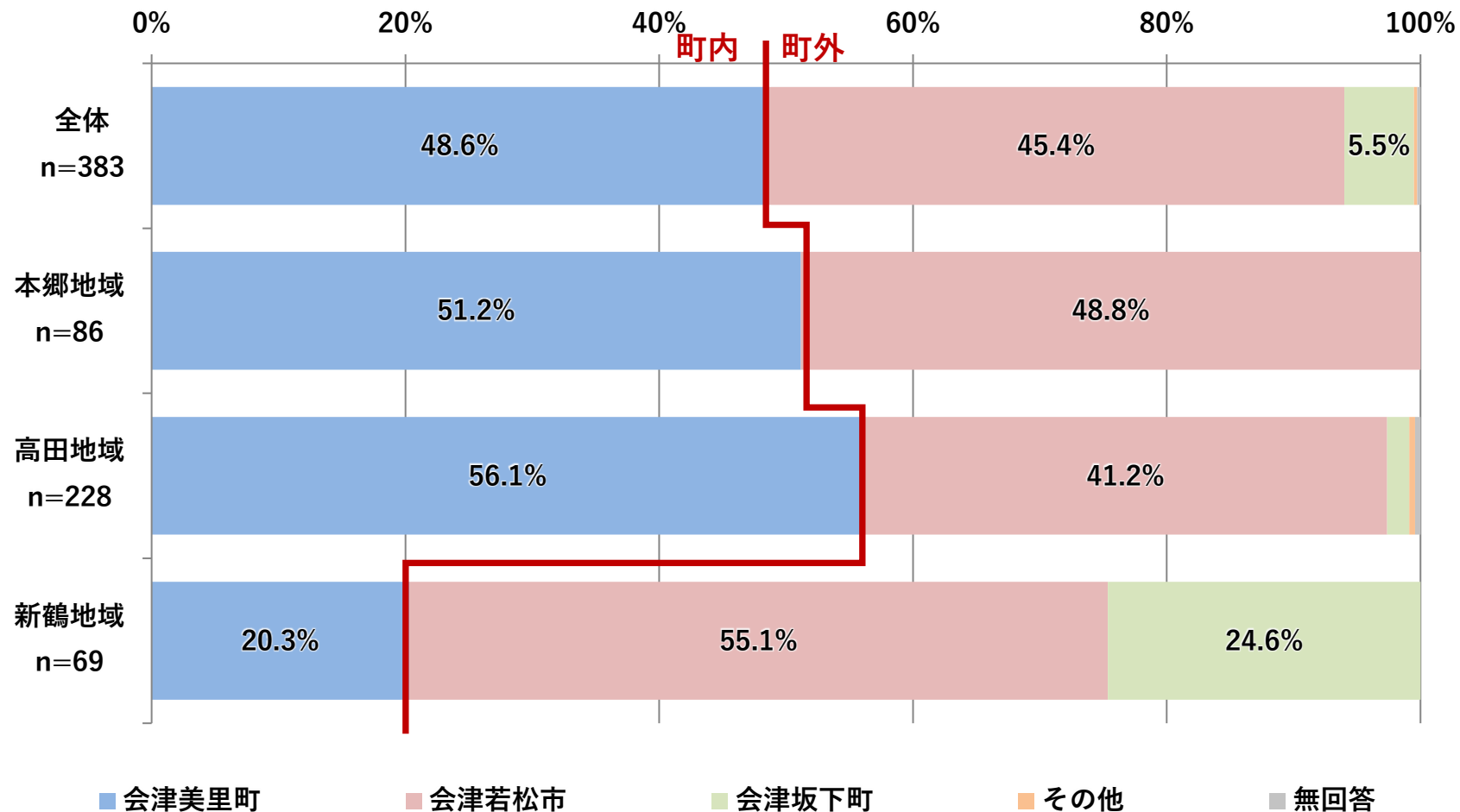
【参考】通院時の目的市町村

P8

- ・町民の約半数が町内の医療施設に通院しているが、半数は会津若松市の医療施設に通院している
- ・地域別の傾向として新鶴地域だけが、より会津若松市への移動傾向が強く、会津坂下町に通院している場合も多い

通院の目的地の市町村（地域別）

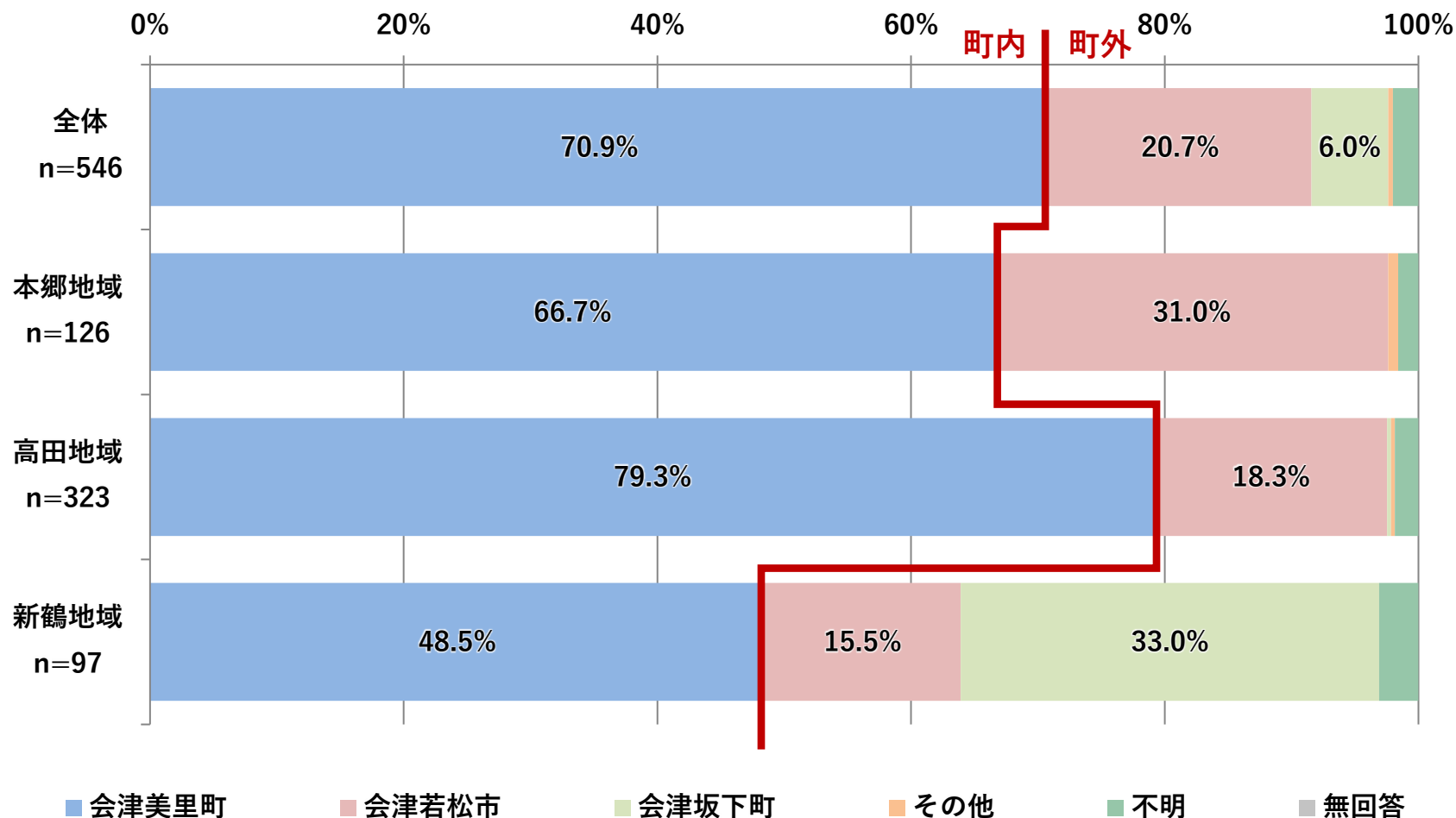
※5.0%未満非表示



- ・町民の7割が町内で買物を済ませているが約3割が町外で買物を行っている
- ・町外での買物について、本郷・高田地域は会津若松市に、新鶴地域は会津坂下町に行く傾向が強い

買物の目的地の市町村（地域別）

※5.0%未満非表示

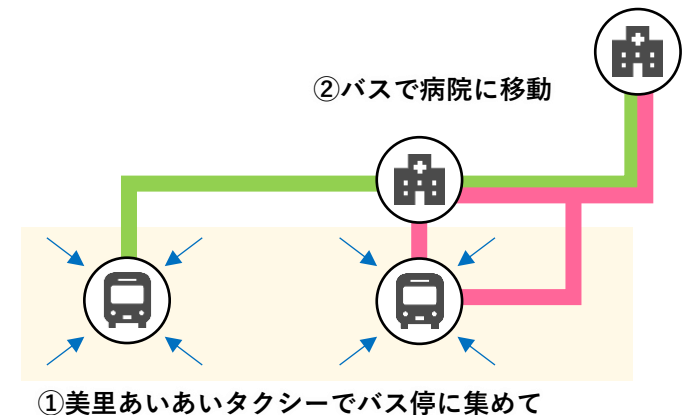


テーマ：広域路線の利用者数の増加

- 町民の会津若松市への通院・通学のためには広域路線の維持が必要であり、維持のためには人口減少の中でも利用者数を増加させることが重要となる
- 町民からは「美里あいあいタクシーで竹田総合病院や会津西病院まで直接行けるようにしてほしい」といった声が出ているが、バスが経由している利点を活かすためにも広域路線⇔町内路線間の移動促進が重要となる
- 美里あいあいタクシーによる町外の病院への乗入れは、バスの利用者を奪いかねないため、バスでの対応が難しくなった場合に検討を行う

実現に向けては施策7～11と連動

- 施策07：運賃補助施策および支払い方法の充実化
→乗継が発生することによる支払額増加の軽減対応 など
- 施策08：交通拠点の維持・活用
→バスに乗り継ぐための拠点の設定 など
- 施策09：総合的な公共交通情報案内の整備
→町のHP上の集約された情報の中で適切に管理
- 施策10：ターゲットに合わせた情報発信環境の整備
→病院等を通じて利用者にしっかりとPR
- 施策11：公共交通利用意識の醸成に向けた出前講座の開催
→各地域の集まりに赴き、使い方を説明



使えることを知らせていく
利用者の乗継運賃負担を軽減させる

【参考】通院時の乗継イメージ

P11

■高田線

行き

	行き		帰り
--	----	--	----

系統	18	19	18	18	18	19	17	17	19	17	19	17	17	19	17	19	18	18
まってらん処前	6:33	6:52	7:13	7:28	8:03	8:27	8:43	9:48	10:52	11:38	12:42	13:18	14:28	15:32	16:13	16:42	18:03	20:17
東小松	6:45	7:09	7:25	7:40	8:15	8:44	9:00	10:05	11:09	11:55	12:59	13:35	14:45	15:49	16:30	16:59	18:15	20:29
竹田病院前①番のりば	7:03	7:22	7:43	7:58	8:33	8:57	9:18	10:23	11:22	12:13	13:12	13:53	15:03	16:02	16:48	17:12	18:33	20:47

帰り

系統	18	17	19	17	17	17	19	17	17	19	17	19	17	17	18	19	18	18
竹田病院前②番のりば	7:10	7:25	7:35	8:40	9:40	10:30	11:40	12:10	13:25	14:30	15:10	15:40	16:20	17:30	18:25	19:10	19:30	20:30
東小松	7:28	7:43	7:49	8:58	9:58	10:48	11:54	12:28	13:43	14:44	15:28	15:54	16:38	17:48	18:43	19:24	19:48	20:48
まってらん処前	7:41	8:00	8:06	9:15	10:15	11:05	12:11	12:45	14:00	15:01	15:45	16:11	16:55	18:05	18:56	19:41	20:00	21:00

■本郷循環線

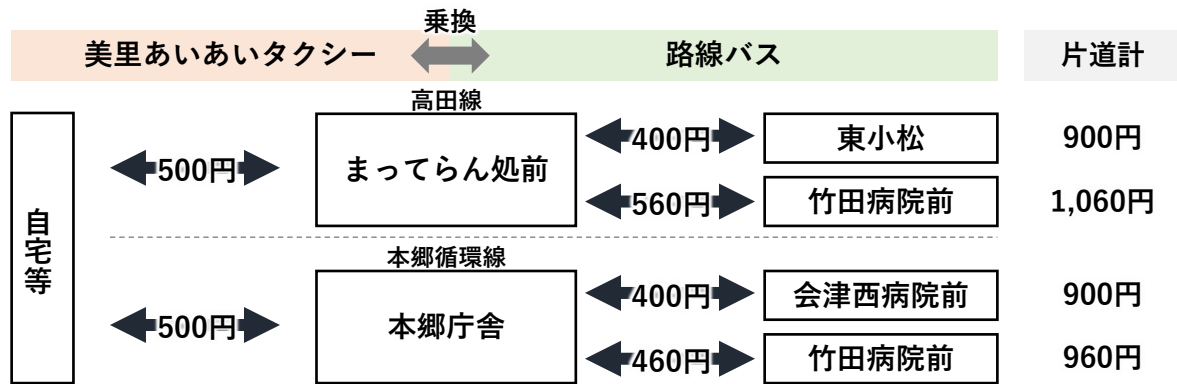
追加 or 入替え

系統番号	12	13	13	12	12	13	12	13	12	12	13	12
竹田病院前②番のりば	6:35	7:30	8:35	9:45	10:55	12:50	13:50	14:50	15:50	17:00	17:40	18:40
会津西病院前	6:54	*	*	10:04	11:14	*	14:09	*	16:09	17:19	*	18:59
本郷庁舎 着	7:10	8:00	9:05	10:20	11:30	13:20	14:25	15:20	16:25	17:35	18:10	19:15
本郷庁舎 発	7:10	8:05	9:10	10:30	11:30	13:30	14:35	15:25	16:30	17:40	18:15	19:20
会津西病院前	*	8:15	9:20	*	*	13:40	*	15:35	*	*	18:25	*
竹田病院前②番のりば	7:31	8:33	9:38	10:51	11:51	13:58	14:56	15:53	16:51	18:01	18:43	19:41

帰宅便として1時間に1本程度の頻度で運行中

(本郷循環線の会津西病院からの帰宅便として12時台に追加もしくは運行系統の入替えが望ましい)

- 美里あいあいタクシーで直接通院したいという要望の中で、現状のままバスを乗り継いで移動することを推進するため、金銭的な負担を軽減させることで住民の理解を得る
- 以下は乗継が想定される拠点から算出した発生運賃



【参考】

高田線：片道最大750円（往復1,500円）
 本郷循環線：片道最大530円（往復1,060円）
 ※各路線の起終点間で移動した運賃を記載

■対応案

- ①ICカード「NORUCA」を用いたシームレスな自動割引を実施
 →システム面での実現性やタクシー車両への機器導入コスト面での検証が必要
- ②路線バス定期券を持っている方は美里あいあいタクシーの利用金額を割引
 →既にあるものを目視で確認し、割引状況を日報に記録するだけなので実現性は高い
 ※バスへの乗継をせず、安い定期を購入し、美里あいあいタクシーでの割引のみを受けることがないよう厳格なルール設定が必要

■その他留意

- ・ 通院に限らず、買物等も含めて路線バスの利用を促進するのであれば、利用バス停を制限しない
- ・ ただし、バス運賃に差が出るので利用者にお得感を出しつつ処理が煩雑にならない金額設定が必要
 →美里あいあいタクシーの欠損を全て補填する考えで、高田線の最大運賃750円を片道回数券の金額にする等